2019 8月号 第26号

### 高岡市老連だより

編集高岡市老連文化教養委員会

発行 高岡市老人クラブ連合会

高岡市博労本町4番1号 TEL(23) 7900 Eメール sirouren@aroma.ocn.ne.jp



女性委員会の皆さんによるコーラス

### · 超高龄化時代 ·

### ますます高まる老人クラブ活動への期待

### 平成31年度 定期 総会

開催日 平成31年4月26日(金) 場 所 高岡市ふれあい福祉センター 多目的ホール

平成31年度の市老連定期総会が、270名参加のもと開催されました。

高岡市老人クラブ連合会の小山会長の挨拶に続いて、来賓の鶴谷高岡市福祉保健部長より激励のお言葉をいただき、引き続き議長に第一ブロック牧野地区の高桑陸雄さんが選任され議案審議に入りました。

### ○平成30年度事業報告について

各専門委員会では、種々の行事が活発に開催 され、概要が報告されました。

### ① 総務委員会

定期総会、囲碁・将棋大会、老人クラブ大 会、単位クラブ会長研修会

### ② 体育振興委員会

ゲートホール大会、グラウンドゴルフ大会、 ペタンク大会、体育祭、パークゴルフ大会、 シャフルボード大会、カローリング大会

### ③ 文化教養委員会

「市老連だより」年2回発行、趣味の作品展

### ④ 女性委員会

コーラス教室、女性研修会、友愛訪問活動、 市内9会場での健康体操

### ⑤ その他

全国老人クラブ大会、北信越ブロック研修 会、県老連リーダー研修会

### ○平成30年度決算報告について

収入総額 16,432,617 円 支出総額 15,057,635 円 繰越金 1,374,982 円

### 〇役員改選について

監事は、第一ブロック二上地区の中川章夫さんに代わり戸出地区の大能秀嗣さんが推薦されました。



定期総会

### ○規約の一部改正(案)について

6 委員会が3 委員会に統合されたことに伴い、関係の規約を改正するものです。

### ○令和元年度事業計画(案)について

各委員会の事業は、昨年度とほぼ同じ計画 となっています。

### ○令和元年度収支予算(案)について

下記のとおりです。

質疑応答の後、全ての案件は原案どおり承認 されました。

最後に山田副会長より閉会の挨拶があり、本 年度の総会を終了しました。



### 令和元年度予算

### ≪収入の部≫

分	担	金				7, 490, 000
			会		費	4, 740, 000
			賦	課	金	2, 750, 000
補	助	金				4, 633, 000
			玉	県	市	4, 043, 000
			県	老	連	60, 000
			県	単	事 業	530, 000
共同	募金分	全国(				200, 000
雑		入				1, 890, 000
			事	業 費	収入	1, 840, 000
			雑		入	50, 000
繰	越	金				1, 374, 982
	収	入	合	計		15, 587, 982

### ≪支出の部≫

$\overline{}$					
会		議		費	510,000
事		務		費	4, 294, 000
事		業		費	6, 780, 000
地	域	活	動	費	940, 000
国	県	派	遣	費	400, 000
負		担		金	1, 821, 460
諸				費	100, 000
予		備		費	742, 522
	支占	出台	信台		15, 587, 982

場

高岡市ふれあい福祉センター

囲碁の部 将棋の部

三 五組 組

多目的ホール

催日

令和元年五月十日(金)

### 組 組 組 組 組 組 博 守 伏 佐 $\overline{\Lambda}$ 地 区 労 野 野 Щ 木 太田 北 沖 野 平 林 田 野 氏 忠義 敏 名 弘 夫 博 洵 段 五段 段 段 段 段 級位

### 【囲碁の部】

ました。 熱戦が展開され、 各段・各級ごとに総当りで約三時間にわたり 県大会出場選抜を兼ねて開催され、 各組で次の方々が優勝され

市老連の囲碁・ 将棋大会 (但し囲碁は二

委員長 中 JİŢ 裕行 務 委 員 会 事 業 報 告

総

### 【将棋の部】

・将棋の部

五月二十一日

火

富山県総合福祉会館

地

区

氏

段

級位

大 大 滝 滝

羽柴

享名

治

一段

杉

野

正朗

三段

深め豊かな地域社会を目指すものです。

C 組	B 組	A 組	組
国	古	大	地
吉	府	滝	区
天近	勘坂	羽柴	氏
和雄	信一	享治	名
二段	二段	三段	段·級位

# ◆囲碁の部●富山県老人囲碁・将棋大会出場者

五月二
十一
日(火
富山県総
合福祉会館

佐野	野村	伏木	大滝	石堤	立 野	地区
有沢	才高	野田	酒井	尾崎	平野	氏
武	信安	敏博	良信	孝嗣	   洵	名
五段	五段	四段	五段	五段	五段	段・級位



囲碁・将棋大会

# 第十四回

# 高岡市老人クラブ大会

余名の会員は、長年蓄積した豊富な経験と知識 田に占める割合は、二十七・七%、三千五百十 五万人に達する超高齢化社会を迎えています。 現在、六十五歳以上の高齢者の総入 現在、六十五歳以上の高齢者の総入 でいます。こうした厳しい現実を前に、本市老 大クラブ連合会の三百六十クラブ、約二万三千 大クラブ連合会の三百六十クラブ、約二万三千 大クラブ連合会の三百六十クラブ、約二万三千 大クラブ連合会の三百六十クラブ、約二万三千 大クラブ連合会の三百六十クラブ、約二万三千 大クラブ連合会の三百六十クラブ、約二万三千 大クラブ連合会の三百六十クラブ、約二万三千

をメインテーマとして、各世代とのふれあいをづくりを推進しなければなりません。本大会は、づくりを推進しなければなりません。本大会は、域社会の担い手として明るく活力ある長寿社会

市老連会長より表彰状が授与されました。

・大会は、山田副会長の「開会宣言」にはじま大会は、山田副会長の「開会宣言」にはじま大会は、山田副会長の「開会宣言」にはじま大会は、山田副会長の「開会宣言」にはじま



老人クラブ大会

が披露され、参加者一同感動のうちに、 皆さんによる舞踊 の全日程を終了しました。 る「高岡市老連のうた」「りんごのひとりごと」 アトラクションとして女性委員会の皆さんによ が提案され満場一致で採択されました。その後、 れました。最後に浅田女性委員長より大会宣言 会会長より夫々祝辞をいただき、受賞者を代表 「若者たち」のコーラスに引き続き、 藤久会の して木津地区の木間美也子さんが謝辞を述べら (代理・鶴谷福祉保健部長)、狩野高岡市議会議 来賓として出席されました 島田県老連会長、 「鶴麗の舞」「越中おわら節 尾崎高岡市社会福祉協議 高橋高岡市長 本大会



老人クラブ大会

受賞おめでとうございます

## ·高岡市長感謝状

(地区老連会長及び女性部長)

木原 正司 (立野)

木間美也子(木津) 藤 勝美 (福岡)

(単位老人クラブ会長) 四人

Ш 崎 武司 (平米)

蔵 野 敏雄 (古府)

笠島 敏昭 (国吉)

押川

功

福

田

## 市老連会長表彰

(地区老連会長及び女性部長) 一人

Ш 辺 寬次 福 田

金谷

洋子(牧野)

信夫(立野

田

秀雄

村

幸子

(佐野)

裕

野 野

村

郎

佐野

高橋

外美 政子

能 能

町 町

嶋

田 原

冷子(立野

Ш

久

(博労)

島

田

## 市老連会長表彰

(単位老人クラブ会長) 二十七人

ı —		-1.7\	
坂井伊	本江	松木	木舟
久 男	久直	克明	正夫
能町	(成美	(成美	(成美
楠	佐々士	塚島	佐野
正	木	義	_
明	豊	和	郎
川原	(博労	博労	博労
(x)	2	2	2

寺島

正和

(伏木)

寺山 高畑

利男(横田

能澤

保 喬

(伏木)

信之

木津

宮田

順子(下関)

Щ

П

健

正

定塚 笹波

幸子(定塚)

竹本 今井 北野 鈴木

善 昭

(佐野)

大畠

(下関)

秋

元

啓吾

福 福 田 田

## 市老連会長表彰

	(個目分員)	(真受しくこと)
	=	三十八人
_		

黒田しげ子(成美)

米田

敏子(博労)

美和子

(成美)

近松

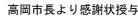
國光

(博労)

柳瀬	米林	中尾	浦田	高木	中島	野村	高田	東	杉谷
久美子(博労)	数雄(二塚)	正(古府)	重雄(古府)	英昭(平米)	謙一(定塚)	道子(定塚)	光夫(定塚)	重信(定塚)	廣友(定塚)
	鍋谷	立野	柴	中村	棚田	横本	杉本	酒井	高嶋
	勝蔵(西条)	透(西条)	幸雄(西条)	進(西条)	誠(木津)	宗紀(福田)	昌一(福田)	清(佐野)	勝治(立野)

		久美子(博労)	柳瀬名
勝蔵(西条)	鍋谷	数雄(二塚)	米林
透(西条)	立野	正(古府)	中尾
幸雄(西条)	柴	重雄(古府)	浦田
進(西条)	中村	英昭(平米)	高木
誠(木津)	棚田	謙一(定塚)	中島
宗紀(福田)	横本	道子(定塚)	野村
昌一(福田)	杉本	光夫(定塚)	高田
清(佐野)	酒井	重信(定塚)	東
勝治(立野)	高嶋	廣友(定塚)	杉谷





### 市長表彰受賞者のみなさん



シャフルボード大会

委員長 山田 孝雄

# |冬季シャフルボード大会

開催日 参加者 所 体育館 五十一名 高岡市ふれあい福祉センター 平成三十一年三月二十五日(月)

場

開会の挨拶に続き、 寒さの残る中、 おいて開催されました。 市老連の冬季シャフルボード大会は、 各コートの優勝、 一杯にプレーしました。 ふれあい福祉センター体育館に 参加者は各コートに分かれ 準優勝は次のとおりです。 山田孝雄実行委員長の 多少

# 第十四回

市老連ゲートボール大会

開催日 場 参加チーム数 所 令和元年五月十六日(木) 福岡屋内多目的広場 十チーム

方々の高齢者表彰が行われ、 葉の後、 多目的広場で開催され、 金森一郎高岡市ゲートボール協会長の激励の言 市老連のゲートボール大会は、 チームのメンバーで八○才になられた 小山市老連会長の挨拶、 前回優勝の祖父川 福岡町の屋内

### 

体育

振興委員会

事業報告

優勝 信濃恵美子(成美) 準優勝 野嶽 信清(戸出東)

優勝

前根

浩(戸出東)

準優勝

室谷

久義

能町

[|| | | | | | |

優勝 今川

忠 福田 準優勝 尾崎

豊 能町

【四コート】

優勝 奥村 治作 福田 岡本

栄子(戸出東

【五コート】

山田 孝雄 (東五位) 準優勝 高木 嘉則 (東五位)

【六コート】

優勝

優勝 加藤百合字(戸出東) 準優勝

浜井 信 太田 優勝

(河村良三・畑山喜義・

福田

武

藤

典子・浅野

敏

能町地区

すみれチーム

三位

立野地区

花のれんチーム

、笹島清春・天坂勝男・佐伯栄吉

嶋恵美子・竹内克子・

竹田寿子

油谷美智子)

チームより優勝杯が返還され引き続き競技に

女性委員会

事業報告

委員長

浅田

清美

入りました。

チームニコー トに分かれ予 リンク戦が

成 ナメント戦が われ、 績は次のと われました。 決勝トー その



ートボール大会

## ○健康体操

研修会・歓送迎会 四月~三月市内九会場で年十七回開催

六月三日(月)

三協アルミ射水工場見学後、

まんよう荘で

歓送迎会実施

○コーラス練習

計六回実施

○コーラス披露 六月六日~七月十八日

七月十八日(木)

老人クラブ大会後のアトラクションとして、

コーラス披露

曲目 とりごと」「若者たち」 「高岡市老連のうた」「りんごのひ

### 今後の予定

準優勝

(宮田義一・村上己美・堂田多恵子・

村上久美子・升井義眞

出西地区

勢友会チーム

(深松為雄・堂田繁之・前田

石田芳子・深島正子・長田

子 実・ 大滝地区

大滝チーム

## ○高岡市高齢者体育祭のアトラクション としてフォークダンス披露

高岡市民体育館 十月十八日(金)



# 各ブロックの行事

第一ブロック (成美・能町・二上・

### ○役員研修会

守山・牧野)

三月八日(金) まんよう荘

- 平成三十年度事業報告・見込み決算報告
- 令和元年度事業計画 ・予算計画

○令和元年度第一回代表者会議(総会)

平成三十年度事業報告・決算報告 六月四日(火) 十時より 二上公民館

- 令和元年度事業計画 ・予算計画
- その他今後に向けて調整事項の協

○第十九回グラウンドゴルフ大会

七月二十二日(月) 高岡市グラウンドゴルフ場 各地区十五名以内の選手による個人戦

# ○高齢者訪問支援介護活動

守山地区で実施

年六回の訪問活動を実施 六月より六グループで四十三世帯に月 П

○健康体操の実施

月二回 成美地区・能町地区・二上地区・守山地区 祉センターで実施 第一、第二水曜日 二上万葉社会福

月一回 牧野社会福祉センターで実施

- ○さわやか講座
- 十月 交通安全講習会

### ○認知症講座 二月 仏教講座、

九月二十日(金) 能町地区にて実施

# ○第十一回パークゴルフ大会

○第二十六回シャフルボード大会 クゴルフ場 九月 二上浄化センター緩衡緑地帯公園パー

十一月 二上万葉社会福祉センター

### 平米) 第二ブロック (野村・定塚・下関・

### 〇役員会

五月二十八日(火) 下関公民館

新年度事業計画等

# )ゲートボール親善交流大会

五月三十一日(金) 東部老人福祉センター

### ○教養講座

七月十七日(水) 下関公民館

「令和と大伴家持

### ○役員会

九月中旬 下関公民館

# 〇第三十八回芸能大会

十一月一日(金) 東部老人福祉センター

# ○いきいき高齢者の集い

十一月下旬 下関公民館

### ○役員研修会

### 〇役員会

法話など

令和二年三月下旬

その他、

年間行事として

祉センターにて実施 健康づくり体操教室 毎月二回

# 第三ブロック

### ○定期総会

**○第三十六回囲碁将棋大会・第五回健康麻雀大会** 五月九日(木) 伏木コミュニティセンター

# ○第二回カローリング大会

六月二十二日(土) 万葉スポーツセンター

九月十六日(月・祝) 伏木老人福祉センター

# ○第二回グラウンドゴルフ大会

伏木国分海浜緑地公園

# ○第三十三回北老協演芸大会

十一月十七日(日) 伏木老人福祉センタ

# 〇ほよの会 年忘れ演芸会

### その他、 年間活動行事として

十二月中旬

下関公民館

# 令和元年度事業報告・決算報告

# 東部老人福

# (伏木・古府・太田)

## 六月九日(日) 伏木老人福祉センター

# 〇ほよの会 若返り大会

十二月 伏木老人福祉センター

# ○健康作り体操研修会

令和二年二月 伏木老人福祉センター

健康作り体操

# 毎月第二第四火曜日 万葉スポーツセンター

川柳会

毎月第四日曜日 伏木老人福祉センター

- 訪問支援活動 各地区毎実施
- 各地区の環境美化活動に参加協力

### 第四ブロック 戸出 一中田 塚

### 小勢)

### ○定期総会

四月十七日(水) 戸出コミュニティセンター

○スポーツ部会 四月二十三日(火) 戸出コミュニティセンター

○女性部会

五月十三日(月) 戸出コミュニティセンター

# ○第二十六回ペタンク大会

七月二十四日(水) 高岡スポーツコア

# ○第十七回グラウンドゴルフ大会

七月二十八日(日) 戸出六丁目グラウンド

# ○第五回パークゴルフ大会

八月九日(金) 高岡市スポーツ健康センター

# ○いきいき高齢者の集い

十二月上旬 高岡市スポーツ健康センター

### ○役員研修会

令和二年二月下旬 いこいの村磯波風

# その他、年間行事として

- 健康体操教室 戸出コミュニティセンター 每月第二·第四木曜日
- 訪問支援活動 年六回、各地区毎に実施

認知症予防教室 各地区にて実施

福田・川原・佐野・木津) 第五ブロック (博労・立野・東五位

○第5ブロック役員会

四月八日(月) 東五位公民館

○第5ブロック定期総会

〇スポーツ担当役員会 四月二十四日(水) 博労公民館

五月八日(水) ふれあい福祉センター

○第5ブロック地区会長会議

○第十一回グラウンドゴルフ大会 五月十三日(月) ふれあい福祉センター

七十~八十名程参加予定 高岡市グラウンドゴルフ場

○第十回パークゴルフ大会

八月五日(月) 高岡市スポーツ健康センター

パークゴルフ場

九十~百名程参加予定

○役員研修旅行

九月十日(火) ~ 十一日(水)

○第十一回パークゴルフ大会

十月三日(木) 高岡市スポーツ健康センター

パークゴルフ場

九十~百名程参加予定

○いきいき高齢者の集い

十一月十三日(水) こぶし荘

参加地区(博労・東五位・福田

○新年懇親会

一月三十一日(金) 博労公民館

第六ブロック (石堤・横田・国吉

西条)

○第6ブロック定期総会

六月二十二日

福岡社会福祉センター こぶし荘

出席者 八十名

● 高齢者詐欺被害防止講座

講師 宏美

高岡警察署 地域安全係長

石堤地区緑樹会婦人部

日本舞踊

○第6ブロックグラウンドゴルフ大会

八月一日 高岡市グラウンドゴルフ場

○訪問支援活動

西条地区にて 四月より実施

第七ブロック 西五位・五位山・赤丸) (福岡· 山王・大滝

○福岡地域長寿会旅行

六月三日~五日 南紀白浜 勝浦温泉

○第十四回パークゴルフ大会

六月二十一日 西明寺パークゴルフ場

○第二十四回夏季ペタンク大会

七月六日

福岡小学校グランド

七月

土屋親水公園・福岡駅前

〇交通安全教室

○福岡地域清掃美化運動参加協力

九月六日

○ダンス教室

Uホールイベントホール

九月

にぎわい交流館

○第十二回カローリング大会

九月二十日 Uホールアリーナ

○第十四回スポーツ大会

十月五日 Uホールアリーナ

○歩こう会

十一月一日 さくら会館~こぶし荘

○いきいき幸齢者の集い

氏

十一月 こぶし荘

○第十九回福祉前句大会

十一月十五日 福岡健康福祉センター

○認知症予防教室

十二月 Uホ ール

○役員研修会・新年会

月 こぶし荘

○第二十二回室内ペタンク大会

二月八日 Uホ ール

○第十八回囲碁将棋大会

福岡健康福祉センター



### 随

想

# 老人クラブリーダー研修会に参加して

恵比寿会

立川 美津夫

今後の方向)について発表されました。 クラブリーダー研修会」に参加しました。 基調報告として、(五ヶ年の会員増強運動と 六月、令和元年度「東海・北陸ブロック老人

少する結果となりました。老人クラブは仲間づ が明らかになりました すと身近な組織やグループに参加することによっ くりで健康寿命を実現、 て、高齢者の健康にプラスの影響を与えること 厳しい情勢の中、全国すべての県で会員が減 最近のデータによりま

メリットは何か、

ますが今の時代、健康寿命の実現があります。 仲間と健康なつながりが出来ます。 新しい仲間ができる。交流が楽しい」であり

が活性化している事例の発表がありました。 講座の中で、各団体からサークル活動でクラブ 会を通して、健康づくり活動が多くありまし

会となり会員の加入の一助に成ると思います。 老人クラブと、 これを通じて、 緒になって、 交流会を設けて連携を図る。 連合自治会、また福祉活動員が 老人クラブを知っていただく機

> を進めていきたいものです。 会をみんなの知恵で開拓していきたいものです。 得意な分野で、 地域それぞれの特色を生かして、人生百年社 あと五歳、若さのプログラム

### (参考資料から)

「組織活動は、健康と長寿の秘訣です。」

人との交流が多いと健康にプラス

月一回未満と少ない人は、 くなりやすい。 1・3倍早く亡

運動は仲間とすると健康にプラス

頻繁に運動しても、グループ参加していな いと要介護に至る可能性が高まる。

サロンへの参加は健康にプラス

参加している人達は、要介護認定率が低い。

笑いある生活は健康にプラス

笑わない人は、 6倍増える。 脳卒中になるリスクが1・

地域組織への参加は健康にプラス

合が減少。 地域組織参加率が高いと認知症リスク者割

地域で役割を担って長生きしましょう

地域で役割のある高齢者は、長生きしやす (死亡率12%減)

ません。 することによって、高齢者の健康にプラスであ ることは、 これらは資料から抜粋したものですが、 間違いありません。 長生きできるほど幸せなことはあり

> 楽しい仲間との交流、これこそが最大のメリッ 語らい交流することが大切なことであります。 健康は個人努力ですが、仲間と一緒に笑い、 健康長寿であります。

目に高い組織率を維持しています。 力によりまして、富山県は全国に比して、 幸いにも、関係単位会長方々の平素からの努 6 番

のばそう! 健康寿命! 担おう! 地域づくりを

# おもてなしの心とは

戸出地区 光明寺老人クラブ

について考える。 このごろよくいわれている「おもてなしの心」

おもてなしの心だと思う。 教え子のおかあさんの上田さんに教えられる、

『氏名』と『ごくろうさまです、』というねぎ 会合にでたとき、おどろいた。何と半紙に、 彼女は今、食改の理事である。 食改の

感服した。 「なんとやさしい心だろう」とびっくりして らいのあいさつが書かれていた。

だろうか。きけば姑さんとの確執もあったとき 彼女のおもてなしの心はどこから生まれたの 私はそのことばに絶句した。

「おもてなし」を辞典でしらべると次のよう

軽トラ物語

五位山地区

西明寺長寿会

山本

からローカルへ、

そして何よりも小回りがきき、

買い物や通院にまた物品運搬、農用と軽トラの

車から軽トラに主役が変わった。

高速道路の利用もしなくなりロングドライブ

り通勤がなくなった。そのため我が家では普通

その中にクルマがある。生活スタイルが変わ

回りの見直しをした。

人生後半の大きな転換期。、職業欄には無職と記入。

これを機会に身の

る。

十年前に会社を退職、半農兼無職の身分とな

に書いてあった。

と」と書いてあった。
「客をもてなすこと・茶や食事をふるまうこ

て思う。で長く会長をつとめることができたと今になっで長く会長をつとめることが多かった。おかげさまそして教えられることが多かった。おかげさまろは、ずいぶん上田さんのひとことに励まされ、

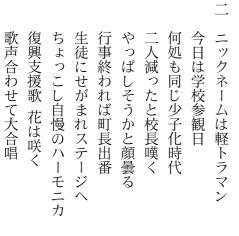
とが多い。 二十年を経てもまだ上田さんに教えられるこ

今日このごろである。教え子のおかあさんの上田さんに教えられる、でさしさ、こころ」は彼女の天性なのか、

かなか軽トラを手放せない。
高齢者にとっては何かと大事な生活の足。な多用性の利点に気がいく。経済的にも助かる。

### 軽トラの詩

まだ三十代の熱血男 今年二期目の町長さん 今年二期目の町長さん そのまま役場へご出勤 スーツに着替えてネクタイ締めりゃ



町営農場収穫祭 一期からそわそわ落ち着かん

がっちりサポート有難い飲むな太るなスピード出すななよっこし恐い嫁御どのふたりがらんうるさ方

荷台に山盛り野菜を載せて 南かうは町の養護苑 専ぶ笑顔に目がゆるむ京分は営農組合長

匹

# 摩訶迦葉とみみずる私と臭虫

赤丸地区 長寿会

石川 正一 長男名

その摩訶迦葉は十大弟子の筆頭で、特に頭陀葉ということになろう。 解してよいかと思う。迦葉という名の人は大勢解してよいかと思う。迦葉という名の人は大勢解してよいかと思う。迦葉という名の人は大勢をどとよく使われるように、偉大な、最高のとを調が変がある。

るものしか受けず、ただ一途に修行した。摩訶らい受けた食べものを入れる袋、その日に食べ陀袋は修行者の唯一の持ちもので托鉢などでもは修行者が頸にかけた頭陀袋からきている。頭にのあたりで頭陀の説明を加えておく。頭陀

第一とされている。

迦葉第一の由縁である。 家に生まれたが、農場で犂、鍬を手にすれば、 摩訶迦葉は俗名をピッパリといい、

みみずや小動物など殺すことは避けられずそれ

を痛く悲しんだ。 の場で出家、 された超美人との縁談も相手方と話し合い、 仏伝によれば、絵よりも彫刻よりも美しいと 二人は別の方角にそれぞれ歩み去っ そ

でからは、 、からは、できる限り小虫など殺さぬようにはなんでも知りたがり屋の私はこの仏伝を読ん

寺で法要があり、 てよいものかと、ひどく気になった。 かり包み窓外に投げ捨てた。ただ臭いから殺し の中の何人かが立ち上がり、 臭虫については不快な思い出がある。 読経が一段落した時、 臭虫をチリ紙でしっ 参詣者 あるお

しっかり放生できるのである を持つ人は放生という仏教用語を知らなくても、 ある人は割箸で上手に摘み静かに外に放した。 つまり放生したのだ。生きものを哀れむ心

ないように生きたいものである。 おくれではあろうが、 私に残された時間は幾ばくもない。すでに手 少しでも生きものを殺さ



### 旅 のつれづれ

大地主の

下関地 関本町松栄会 中 谷 静子

先のローマにおいて拝見いたしました。 改元と言う、 憲政史上二百二年振りとなる生前退位による おめでたい元号発表を、 私はツアー

ました。 り詳しく拝見する事が出来て、 万葉集からの典拠についても、 官の発表をリアルタイムで拝見することができ 現地時間は深夜ではありましたが、 アイパッドによ 大変感動いたし 菅官房長

であったポンベイの遺跡でありました。 て灰の下に埋まった、ローマの地方都市の一つ 十九年、ヴェスヴィオ山の噴火により一夜にし るこんにち、奇しくもその日の観光先は紀元七 地球上の何処に居ても、 瞬時に情報が駆け巡

姿がユネスコの世界遺産に登録されたのは二十 世紀近くなってからだそうで、 なってやっと発掘が進み、古代都市ポンベイの う広大な遺跡でありました。 永年に亘って放置してあったものを近代に 六十六万㎡とい

ものでありました。 活をつぶさに偲ぶことが出来て、 に埋蔵保存されていたもので、 公共広場や野外劇場等々、 都市生活をその 古代の人々の生 大変興味深い 儘

そうな石臼であり、 /掛かりで挽いていたと言う、身の丈もある重 中でも強く印象に残ったの 場末にあった売春宿の跡で は、 裸の奴隷が二

ると言うことを なるもの、 て私は悟りました、 り幾多の変還を遂げて参りましたが、 洋の東西を問わず人々の生活は、 それは人間の「さが」についてであ 太古の昔から本質的に不変 いにしえよ

トランの頭上は公道でありました。 の斜面であり、私たちが昼食を摂った洞窟レス 自転車さえ乗り入れ不可能で、 町が拓けていました。 な岩盤の山に、洞窟住宅が密集してセピア色の 次に訪ねた、マテーラと言う世界遺産は広大 そこには自動車は勿論、 人道があるのみ

大変賑わっておりました。 変不便なものに見えましたが、 歩行のみと言う、現代人の生活の場としては大 公道と言っても地盤は岩なので、 観光地としては 移動手段は

りましたが、当初三千軒ほどあった家屋が現在 聞いて驚きました。 造りの家並で、 う町は、石片を積み上げたトンガリ屋根に白壁 次元なもので、次に訪れたアルベロベッロと言 は、三十軒位しか、 世界遺産と言うネームバリューと実生活は別 童話の国のような世界遺産であ 住んでいないと言う現実を

た。 気軽さに、 存維持の大変さは、 たちは、 るとともに、 所謂、 住んで居る家を自由に改廃出来る事の 不便さを遺す為のような世界遺産の保 ささやかな幸せを感じてまいりまし 何の制約もない一般市民である私 世界共通である事を実感す

俳句

-米地区

**湶寿会** 

作道

璃千子

傘を杖に濡るるも良しと春の 雛に詫びもう飾られぬ齢かな

雨

花万朶平和を祈る令和の

世 小野 手びねりの一壺傾き夏終る 漁夫の手の逃げ足の蛸裏返す 田蛙やひたと鳴き止む真暗がり

-米地区

松和会

田

洋子



### 北 老協

### 川 柳会

伏木地区 国谷 洋子 選

思い 出 [を感謝に替える新時代

好

な爺ぶり

逆境も乗り 一越えられる思い 出と 堀 あつ子

助

宮 郁代

祭笛

夜かぎりの

勇み

舡

早苗ゆ

ħ 笹

餅

かおる田

. つ

ぱ

「令和」

高々凧まつり 針 Ш 康雄

若い

いパワー

佐野 澄枝

悪友と飲む相談はすぐ決まり

春祭りイャサ、 イャサと跳ねる獅子 山口

徹郎

古木

米寿さえ思い出にして百生きる 彰

っ人がとなり町から笛太鼓

嶋村

植祭

村田

村田

マリ子

貰って帰る学園祭

孫の相談乗り出す身 村上 芳雄

西 英子

千代松

恵子

恋に仕事に悩み語りし竹馬の友

橋

稔

け h か山祭り囃子もラインする

竹原

ひろ子

「令和」 から脚光あびる万葉集

思い出を語れば淡い恋ひとつ

国谷

洋子

古川

政章

相談をするのに仮面付け替える

惜しまれて去るアパー 田村

武

トにある絆 六反 日出 緒

成美地区 南山 会

下関地区

南田町長栄会

牧長

開発

今日よりは子の一人旅夏に入る 夏蕨摘んで蕨の葉の下に 裾に寺の多かり青嵐

Щ

大滝地区 本領クラブ

土倉

武勇

嫁選び本人よりも親を見る 女学生あした又ねと右左 年生おニュウの鞄嬉しそう

> 越中に万葉の山ほととぎす しんかんと朝の日矢射し遠郭公 雲の峰鋼びかりに雄神

博労地区 関町長久会 大川 和江

栗御飯つやつやと炊け母思う 湯上がりの親子で語る初夏の旅 老いてなほ親しむ句集さくらんぼ ーうちわ」

### FU

旬

大滝地 区 大滝クラブ

0

宝

猫

堂田

笑峰

「支えられたり支えてみたり」一人住む母の生き甲斐白い 「台風が次から次とやって来る」 頑張れ富富富 富山

エアコンがうちわを棚に追いやった

木津地区 星寿会

竹田 直

「支えられたり支えてみたり」杖となり寄り 雨の夜の雲に朧にゆれ動 添い生きる老い二人

天地 「うちわ」うたた寝の稚児に風避け脇に置く 月 梅

赤丸地区 鞍・尾クラブ 阿古下

和

「支えられたり支えてみたり」老夫婦寄り添い 、巡る検

エアコンが猛暑に負けず唸りおる 盂蘭盆に地域起こしで輪の踊

大滝地区 大滝クラブ 田 中

睦

風

「支えられたり支えてみたり」寄り添うてつまずく夫の手を取った

天地 子どもより母こそほしい夏休み 「月」ついほろり見上げて母の言葉聞

山王地区 上・簑島クラブ 太田 満知子

「支えられたり支えてみたり」一つ屋根互いに暮らす三世 「台風が次から次とやって来る」 悲鳴あげてる日本列 代

天地 一月」つぶらな目うさぎいるのと話聞

木津地区 星寿会

木間 美也子

笠 エアコンに家族だんらん憩いけり

越

沓 懐 かし い孫と遠出の夏休み

持たずうっかりとして閉めるドア



天地

西五位地区 三日市クラブ 木村 重 明

「支えられたり支えてみたり」 「台風が次から次とやって来る」攻めくる波は世 あの日から持ちつ 持たれて五十年 への警告

越 悪いクセうっかりとしてまたも出

大滝地区 木舟新クラブ 稲

子

「台風が次から次とやって来る」天気予報に 喜

エアコンのやさしい風で昼寝した

越 鍵 かけをうっかりとしてまたもどり

西五位地区 西五位三区クラブ 地 崎 愛子

「台風が次から次とやって来る」不況不作に心が痛

「支えられたり支えてみたり」 山超えて共に進んだ苦難道

天地 「月」連れ添って夜空を仰ぎ宵の秋

大滝地区 大滝クラブ  $\mathbb{H}$ 

Q

「台風が次から次とやって来る」 覚悟を決めて 我が家を守る

エアコンが夏の暑さをやわらげた

天地 「月」ついに来た宵待ちダイバー -潜る時

大滝地区 木舟新クラブ 藤村 信 子

笠 エアコンに昔を偲び感謝する

折 「うちわ」 歌い継ぎ地方の盆日に輪で踊

沓 児等楽し母大忙し夏休み

西五位地区 向田クラブ 向井

崇嘉

「台風が次から次とやって来る」 攻め甲斐あるか日本列

笠 エアコンが老いを気遣い介護した

日焼けした顔が並んだ夏休み

国吉地区

国寿会

中谷 洋子

日付書きうっ 月 梅 雨 0 かりとして平成と 明けまあるいお盆美しき

越 沓 見守り隊ラジオ体操夏休み

ーうちわ」

唄によいちょいと浮かれ

て輪で踊

/۱ 靴が

うっかりとして青と組

一台風

が次から次とやって来る」

自然の猛威耐えるしかない

沓 越

うるさいが我慢している夏休み

「支えられたり支えてみたり」 木津 地 区 偕老の夫婦なかよく五十年 星寿会 土田 由 朗

天地 「月」つい忘れ宇宙飛行士おりたとき

ーうちわ」 運のつき痴話喧嘩して別れ 風

福岡地 X 福岡一 区長寿会 梅原 喜代治

「支えられ たり支えてみたり」日溜り 0 縁側茶会共白髪

天地 エアコンが炬燵の団欒支援する 「月」角隠し十五夜空に祝う秋

福岡地区 福岡二区クラブ 尾崎 与里

「台風が次から次とやって来る」 「うちわ」 うるさい蚊ちょっと払えば脇へ行く 山に囲まれ守られ ってい る

ひ孫たち待ちこがれてる夏休み

西条地区 波岡豊友会 Ш 豊治

「台風が次から次とやって来る」実りの秋にまた心配だ エアコンで厳しい夏も快適だ

大滝地区 荒屋敷クラブ 松川

「支えられたり支えてみたり」医者通い足を気づかう老夫婦 台風が次から次とやって来る」努力みのった朝乃山立つ

天地 |月| 露うけて赤き実光る富有柿

大滝地区 大滝クラブ 荒田 遊月

「台風が次から次とやって来る」轟音放ち九州飲 いまる

「うちわ」嬉し舞いちらり愛らし和に染まる

大滝地区

本領クラブ

土倉

武勇

エアコンで猛暑しのぎ読書する

れるなど全国的に



ーさん (市立博労公民館にて 7/18)

戸 出 地 区

澄

「台風が次から次とやって来る」 一うちわ」 打ち振りて力一杯ワッショイと 逸れるようにとニュースに見入る

同じことうっかりとしてまた言っ

折

西条地区 波岡豊友会 Щ П

康

「支えられ 月 躓いて夜あかり怖くそっと行き たり支えてみたり」 私よろけ肩を 頼 て頼 5 れ

二家族皆集まる夏休み

天地

西五位地区 三日市クラブ 笠嶋 祥子

(吉祥)

台風 が次から次とやって来る」 旅行カバンが待ちくたびれ

「支えられたり支えてみたり」すぐ声が届く範囲で三世代

<ここに注目>

### 限定運転で事故防止 「やわやわ運転」全県で展開中

「やわやわ運転」は、昨年4月から9月までの半年間、博労・ 野村の両老人クラブ会員が運動に参加されました。高齢者の交 通事故が多い昨今、ハンドルを握るときは自主宣言事項を遵守 無事故運転に努めるものです。「自主宣言」は、「余裕をもっ た運転計画を立てる」「思いやり運転をする」「速度を控えて運 転する」等、運転条件を自主的に限定します。 この運動は、

元テレビでも取り 上げられ、高い評 価を受けられまし た。本年度は、富 山県警が全県で6 月1日から11月3 0日まで運動を展 開中。NHKテレ ビ東京も取材に訪

も注目されています。

NHKテレビ東京の取材を受ける

高岡市老連だより次回発行のお知らせ

笠題

〇前句

○短歌・俳句・川柳等

○各クラブの活動状況・随想等

四百字詰め原稿用紙一~二枚程度

いします。

できるだけ多くの方の投稿が掲載出来るよう、次の点に留意されますようお願

次回は令和二年一月に発行を予定しております。

人一種目に限定し、三首以内にして下さい。

出題句は次の六種七とおりです。わからないことは選者に電話して下さい。 一題一句とし、一人三句以内にして下さい。 「前句は高岡市の認定文化に指定されています」 長題

切るか、 結句は次の句につながる助詞止めや形容詞止めはさけて、 「正直なこと正直なこと」五、七、 - 人柄が滲み出ている手書き文字」七、 名詞止めにする。 五 を付句する。 七を付句する。 置い

にする。 格です。必ず完全終止形(・・た。 ・・る。 する。結句のしめくくり方は俳句のように名詞止めにしたら失 「体力」つなぎの助詞(が・で・に等)を付けて七・五を付句 .

ξ 天地題 内容は「夢」のことを詠む。 「夢(ゆめ)」゛ゆ゛で始まり 、め、で終わる。

六五 四 "が〟と入れ、内容は「映画」のことを詠む。 「映画(えいが)」五、七、五のそれぞれの頭に 「調子にのって」五・七・五の中句に詠み込む。 ヹ゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙ヹ゚゙゛、

※長題・天地題・折題の付句には、出題句の漢字や言葉を使用してはいけ い。(字ざわりで失格句になります) 「新聞紙」五・七・五の結句にそのまま詠み込む。

※前句の投稿は次の選者宅へ、前句以外の投稿は市老連事務局へ 部添削させていただきました。ご了承の程よろしくお願い致します。

〒九三九一〇一〇二 高岡市福岡町三日市五五五

話·FAX 〇七六六一六四一二四一七

○締め切り ○地区名・単位クラブ名・氏名を明記して下さい。 令和元年十月末まで 必着

> 漢 詩

下関地区 前田町梅寿会 跡地

### 乗谷朝倉遺跡 名勝史跡発掘文化を訪ねて 仄起式庚韻

山頂掘堅防御

城

輿亡豈謂首元 繁栄戦火夢魂 贍 情

※押韻 城 情

%庭園

タ陽

明

発掘された文化、 朝倉特別名勝庭園、 繁栄した城下町は廃墟と化した 織田信長との戦火により、 守り堅い城であった 盛衰のあった殿様達の心を どうして思ってみないのか、 山頂に空堀をめぐらし

明

時空を超えて夕陽に明る

### **編集後記**

が、会員の皆様方にはお元気でお過ご暑さも少しは和らいでいると思います しのことと思います。 この号をおよみになっている九月は

においては、自動車は必要不可欠の存故が多発していることです。現代社会れることの一つに高齢者による交通事 と化すことを忘れてはいけません。 者運転の事故が多発していることを我々 故が多いということです。それも高齢 とたび事故を起こした時には車は凶器 在であることには相違ないですが、ひ 問題は、軽微な事故ではなく人身事 最近、テレビ・新聞上で多く報道さ

> 当分無いでしょう。 は思いますが、絶対安全というモノは 安全装置等を備えた車を出して来ると は真剣に受け止めなければなりません。 自動車メーカーも今後さらに有効な

ましょう。 た時には、潔く運転免許を返上いたし 己防衛のためにも運転に自信が無くなっ ということで、人のためにもまた自

だと思って運転していますが、いつ返と云いながら筆者も今はまだ大丈夫 上すればよいかなと考えている今日こ

文化教養委員会・委員長 哲也